

留学先大学：SOAS (University of London)
 留学先での所属学部・研究科：Music Department
 留学先での在籍身分：Japanese Exchange Student
 留学期間：2015 年 07 月～ 2016 年 05 月
 神戸大学での所属学部・研究科：発達科学部人間表現学科
 学年（出発時）：4
 本報告書記入日：2015 年 10 月 30 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

過去の神戸大学の先輩方の報告書を参考にしました。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮，アパート）の名前：Dinwiddy House
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：ノルウェー、イギリス） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：25 分，徒歩
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

大通りに面しているため、夜も車や人通りが多いです。キングスクロスやセントパンクラス（ユーロスター）の駅に徒歩10分以内と近いので、移動の際に大変便利です。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

ほぼ自炊しています。日本食スーパーで日本の調味料や食材は手に入ります。（Picadilly Circus 周辺のrice wineというスーパーがおすすめです。）

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

特にトラブルはありませんでした。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

履修登録に関しては現地学生と同様に扱われますが、個別に相談に行けば学部のスタッフや先生方は大変丁寧に相談に乗ってくれます。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Ethnomusicology	Keith Howard	2	0.5	20	講義形式。民族音楽学や音楽社会学理論が中心であり、予習と復習は必須。エッセイが2つと、試験が1つある。
2	Sounds and Culture 1		2	0.5	20	1年生向けの講義であるため難易度は低い。幅広く民族楽器の基礎知識について学べる。エッセイが1つと、リスニング試験が1つある。
3	Pop and Politics in East Asia	Rachel Harris	2	0.5	30	講義形式。中国、韓国、日本における音楽の政治利用や音楽劇における社会風刺、また地下音楽シーンなどを社会学的観点から捉える。エッセイ2つ。
4	Performance 1b	Kadialy Kouyate	2	0.5	10	アフリカの民族楽器koraの実践演習。期末にパフォーマンスの試験がある。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスサイズは丁度良い。成績は出欠ではなく全てエッセイ/試験で評価されるため、日頃からの予習復習が必要である。エッセイへの評価は甘くないが、学部生は4割以上で合格できる。リーディングとライティングの量が大変多いため、毎日図書館にこもり勉強に励む学生が多い。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00		Ethnomusicology		Pop and Politics in East Asia			
11:00							
12:00		Sounds and Culture 1					
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00	Klezmer Band (課外活動)	Japanese Volunteer (日本語クラスにて生徒とdiscussion)	Performance 1	Gypsy Orchestra (課外活動)			
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

私はIELETSにおける語学力が足りなかったため、Pre-sessional Courseを2か月受講しました。Pre-sessionalは語学学校というよりは、あくまでもアカデミックな英語を学ぶ場です。Essayの書き方やPresentationの仕方を丁寧に学ぶことができ、大変生産的な時間となりました。9月末から授業が始まると、英語学習に割く時間は全く無くなるので（それほど授業の課題が多いため）それまでに基本を身に着けられたのは良かったと思います。ただ、Pre-sessionalのために払った資金のことを考えると、この期間はJASSOの奨学金が出ないため、日本でモチベーションを上げてアカデミック英語を勉強して本コースの時期から来るのが一番金銭的には効率的ではあると思いました。

Preの二か月は、土日など自由な時間も多かったため、ロンドン市内や郊外にクラスメイトと出かけました。ロンドン市内だけでも常にどこかでイベントやお祭りが開催されており、エンターテイメントには全く飽きることのない場所です。私は特に、夏の期間に開催されるBBCプロムスというクラシック音楽祭に頻繁に通っていました。（チケットは1000円以下で購入でき、無料のプログラムもあります！）また、美術館や博物館は特別展示以外無料で入ることができるので、大英博物館、V&Aミュージアム、National Gallery、TateModernなど時間を見つけては訪れ、世界中から集まる作品レパートリーの多様性に感服していました。

本コースが始まってからは、まずは授業についていくことが必死であり、中にはイギリス英語で大変速いスピードで話す先生もいるため、自分の英語力の無さに時々落ち込むこともあります。予習と復習を繰り返すことで対応しています。授業自体で扱う問題意識は面白く、人類学や社会学のアプローチで、音楽文化を社会構造の中で置き換え考えることができるのは非常に興味深いです。課題の量が本当に多いため、現在はなかなか遊びに行くことはできないのですが、二つの音楽グループに所属しリフレッシュの時間を設けています。ユダヤ系の音楽やジプシー音楽など、日本ではなかなか触れることのできない音楽文化を実践的に体験することができ、また多種多様なバックグラウンドを持った学生達と音楽ができる環境はさすがSOASだなと感じています。

SOASでの生活は会う人すべてが個性的で大変刺激に満ちたものです。今後も地道に課題をこなしながらも、ロンドン、そしてSOASという独特な空間を楽しみたいと思います。